

1st ラウンド順位表

グループA

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	秋田	3	3	0	0	16	2	+14
2	山形	3	2	0	1	8	4	+4
3	岩手	3	1	0	2	3	6	-3
4	八戸	3	0	0	3	1	16	-15

グループB

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	仙台	3	3	0	0	21	1	+20
2	福島	3	2	0	1	10	6	+4
3	新潟	3	1	0	2	9	14	-5
4	塩釜	3	0	0	3	4	23	-19

グループC

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	柏	3	3	0	0	9	0	+9
2	鹿島	3	2	0	1	10	2	+8
3	水戸	3	1	0	2	10	5	+5
4	いわき	3	0	0	3	0	22	-22

グループD

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	千葉	3	3	0	0	8	1	+7
2	町田	3	1	1	1	4	4	0
3	札幌	3	1	0	2	4	7	-3
4	YS横浜	3	0	1	2	1	5	-4

グループE

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	横浜FM	3	2	0	1	14	4	+10
2	横浜FC	3	2	0	1	10	5	+5
3	相模原	3	1	0	2	5	9	-4
4	琉球	3	1	0	2	5	16	-11

グループF

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	浦和	3	3	0	0	16	3	+13
2	三菱養和	3	1	1	1	4	10	-6
3	甲府	3	1	0	2	8	8	0
4	栃木SC	3	0	1	2	2	9	-7

グループG

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	東京V	3	3	0	0	19	0	+19
2	大宮	3	2	0	1	5	3	+2
3	SOL	3	1	0	2	6	8	-2
4	群馬	3	0	0	3	0	19	-19

グループH

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	川崎F	3	2	1	0	10	2	+8
2	湘南	3	2	1	0	7	2	+5
3	FC東京	3	1	0	2	8	4	+4
4	栃木C	3	0	0	3	2	19	-17

グループI

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	金沢	3	3	0	0	5	2	+3
2	松本	3	1	1	1	9	6	+3
3	長野	3	1	1	1	3	3	0
4	富山	3	0	0	3	1	7	-6

グループJ

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	磐田	3	2	1	0	10	4	+6
2	清水	3	1	1	1	10	8	+2
3	沼津	3	1	0	2	5	8	-3
4	藤枝	3	1	0	2	3	8	-5

グループK

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	G大阪	3	2	0	1	12	6	+6
2	名古屋	3	1	2	0	9	8	+1
3	C大阪	3	1	1	1	4	6	-2
4	岐阜	3	0	1	2	4	9	-5

グループL

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	京都	3	3	0	0	19	4	+15
2	奈良	3	2	0	1	12	2	+10
3	神戸	3	1	0	2	15	6	+9
4	FC大阪	3	0	0	3	0	34	-34

グループM

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	岡山	3	2	0	1	13	6	+7
2	鳥取	3	1	1	1	6	5	+1
3	徳島	3	1	1	1	5	11	-6
4	讃岐	3	1	0	2	6	8	-2

グループN

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	広島	3	3	0	0	20	0	+20
2	愛媛	3	2	0	1	4	9	-5
3	山口	3	1	0	2	2	7	-5
4	今治	3	0	0	3	0	10	-10

グループO

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	鳥栖	3	2	1	0	10	5	+5
2	長崎	3	2	0	1	9	3	+6
3	大分	3	1	1	1	7	7	0
4	北九州	3	0	0	3	1	12	-11

グループP

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	鹿児島	3	2	0	1	13	2	+11
2	熊本	3	2	0	1	10	8	+2
3	福岡	3	2	0	1	6	5	+1
4	宮崎	3	0	0	3	2	16	-14

2nd ラウンド順位表

グループ 1

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	鹿島	2	2	0	0	21	2	+19
2	柏	2	2	0	0	13	0	+13
3	山形	2	0	0	2	2	11	-9
4	秋田	2	0	0	2	0	23	-23

グループ 2

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	仙台	2	2	0	0	3	1	+2
2	町田	2	1	0	1	9	5	+4
3	千葉	2	1	0	1	6	2	+4
4	福島	2	0	0	2	4	14	-10

グループ 3

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	浦和	2	2	0	0	8	3	+5
2	横浜FM	2	1	0	1	4	3	+1
3	横浜FC	2	1	0	1	7	9	-2
4	三菱養和	2	0	0	2	4	8	-4

グループ 4

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	東京V	2	2	0	0	8	2	+6
2	大宮	2	1	0	1	3	3	0
3	松本	2	1	0	1	3	5	-2
4	金沢	2	0	0	2	2	6	-4

グループ 5

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	川崎F	2	1	1	0	5	1	+4
2	湘南	2	1	1	0	6	4	+2
3	磐田	2	0	1	1	3	5	-2
4	清水	2	0	1	1	2	6	-4

グループ 6

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	奈良	2	1	1	0	7	4	+3
2	京都	2	1	1	0	6	3	+3
3	G大阪	2	0	1	1	4	7	-3
4	名古屋	2	0	1	1	3	6	-3

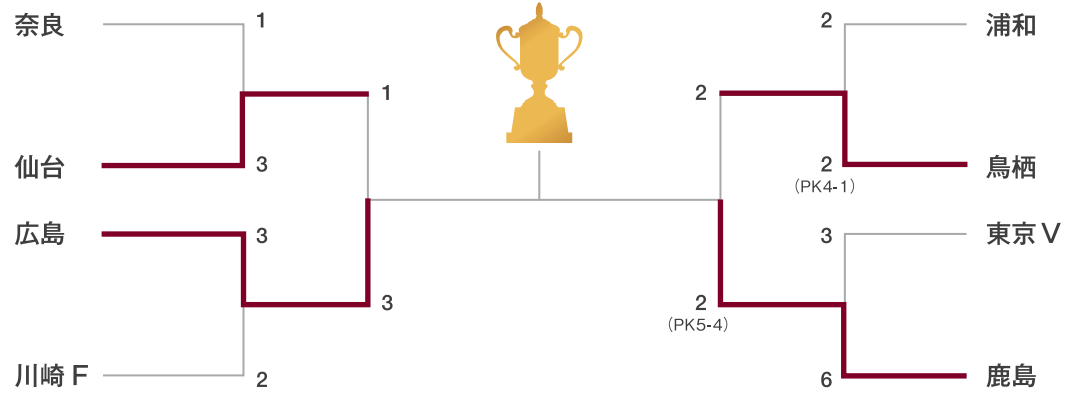
グループ 7

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	鳥栖	2	2	0	0	6	2	+4
2	鳥取	2	1	0	1	7	4	+3
3	岡山	2	1	0	1	3	4	-1
4	長崎	2	0	0	2	2	8	-6

グループ 8

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	広島	2	1	1	0	9	2	+7
2	熊本	2	1	1	0	5	4	+1
3	鹿児島	2	1	0	1	13	7	+6
4	愛媛	2	0	0	2	2	16	-14

ノックアウトラウンド



GOAL RANKING			
順位	NAME	TEAM	得点
①	古賀 大雅	東京 V	8
②	滝澤 周生	鹿島	7
②	沢口 栄太	横浜FM	7
②	小林 志紋	広島	7
②	朝日奈 英心	徳島	7
6	門馬 禅	東京 V	6
6	太田 大翔	広島	6
2025.11.09 現在			

2025 J.YOUTH CUP

2025 Jユースカップ 第31回 Jリーグユース選手権大会

UNDER 18 LEAGUE

2025 J.YOUTH CUP

鹿島アントラーズ

鹿島

2025 J.YOUTH CUP

2025 Jユースカップ 第31回 Jリーグユース選手権大会

鹿島アントラーズ

鹿島

サッカードレス

サッカードレス

来場者限定！

WAKUWAKU 大抽選会

WAKUWAKU 賞

アディダス コネクト 25 プロ 試合使用球

3名様

POTENTIAL 賞

BAKUNE スウェット メンズ 上下セット ※サイズは選べません

5名様

BASE UP 賞

BASE YAKISOBA 詰め合わせセット

5名様

AUTHENTIC 賞

サッカーショップ KAMO 限定デザイン オリジナルシューズケース

30名様

Júbilo 賞

ジュビロ茶 ティーバッグ(深蒸し茶)

10名様

抽選参加方法

下のQRコードを読み込み LINEミニアプリを利用して参加

抽選実施時間

11:00～15:00頃

※実施時間は変更になる場合があります

賞品引換場所

第1ゲート前

引換時間

ハーフタイム以降 試合終了後30分ごろまで

スポーツクリ

WINNER

GOO

BIG

試合のLive配信はこちら

Jリーグ公式 YouTube

Youtubeアプリが起動する場合は、画面右下アイコンや端末の設定からブラウザで開くを選択してください



サンフレッチェ広島F.Cユース

今季の高円宮杯 U-18プレミアリーグ WESTでは11勝3分4敗で首位と勝点4点差の3位につける。Jユース杯は2年連続の決勝進出で、優勝3回、準優勝7回とファイナル出場回数は最多を誇る。育成組織の実績は充実しており多数の日本代表選手を輩出。現在も大迫敬介、川村拓夢、荒木隼人、満田誠、加藤睦次樹、東俊希、中島洋太郎などがJリーグで活躍中。

監督／野田 知

大会登録選手一覧

2種 (U-18)

FW	土井川 遥人	MF	原 湊士
DF	野崎 光汰	MF	浅沼 凌弥
GK	野呂 海斗	DF	小柳 柊
GK	小川 煌	DF	森井 莉人
DF	林 詢大	MF	杉谷 優
MF	長沼 聖明	FW	高橋 成海
FW	宗田 柁生	MF	田中 優翔
MF	山里 謙心	FW	佐藤 壮知
MF	小林 志紋	MF	正法地 有
DF	児玉 司	DF	富田 雅翔
DF	梅田 大翔	DF	西 翔生
FW	牧野 太河	MF	野口 魁斗
DF	太田 大翔	MF	宮内 太陽
MF	野口 蓮斗	MF	岡 颯介
FW	菊山 璃皇	MF	加藤 凜太郎
MF	河上 颯希	GK	枝川 航大
FW	信重 亮二朗		

3種 (U-15)

DF	西中 颯大	MF	片山 新
DF	竹岡 真叶	FW	貞森 大雅
FW	笹川 秀斗	MF	空 丈琉
FW	末岡 祐陽	DF	窪田 京
GK	河野 央貴	FW	豊田 蓮
MF	堀江 葵斗	MF	寺本 幹太
MF	西本 展	DF	中野 暖己
MF	柴田 葵生	DF	原田 直太郎
DF	松川 斗祈	FW	大塚 躍雲
DF	森田 琉希	DF	梶谷 蒼真
DF	森岡 詩太	DF	黒田 仁稀
MF	柊木 優汰	FW	森田 響介
MF	住岡 励海	GK	柳楽 力哉
GK	高山 一輝	GK	関山 一颯

2025.11.07 現在

決勝までの戦績						
1st ラウンド	6月7日	○	9	VS	0	愛媛
	6月11日	○	6	VS	0	山口
	6月15日	○	5	VS	0	今治
2ndラウンド	10月23日	○	7	VS	0	鹿児島
	10月26日	△	2	VS	2	熊本
準々決勝	11月2日	○	3	VS	2	川崎F
準決勝	11月9日	○	3	VS	1	仙台



©J.LEAGUE

決勝の試合展望

日本一を決めるにふさわしい、決勝はJリーグ屈指の名門クラブ対決が実現した。優勝は19年ぶり4度目を狙う広島か、11年ぶり4度目を目指す広島か。いずれも勝てばG大阪の大会最多4度の優勝回数に並ぶ。

ともにU-17日本代表に主力を派遣するが、選手層は厚い。2年連続で決勝に臨む広島は、昨年の準優勝を経験した土井川遥人と宗田柁生(ともに18)の両FWが、ここまで4得点。2列目から鋭く飛び出す6得点のMF太田大翔(17)を含め、組織力をベースに個人技で勝負できるタレントが多い。

中でも注目は昨年から際立つ存在だったMF原湊士(みなと、17)。左ウイングが主戦場で、ドリブルで仕掛けて攻撃の起点になれる。ゴール前に進入し、他の攻撃陣の決定機も演出する姿は、トップチームで活躍する東俊希に近い潜在能力がある。最終ラインを統率する主将DF林詢大(18)が「昨年は決勝で負けて、悔しい思いをした。絶対に勝って日本一になりたい」の言葉は熱い。

広島は高校1、2年のメンバーが主体。得点感覚の優れた7ゴールのMF滝澤周生は、あと1点で得点



2024年 決勝 東京 V vs 広島

[ヨドコウ桜スタジアム]



©J.LEAGUE

東京Vが2-1で広島に競り勝ち、96年大会以来となる28年ぶり3度目の優勝を飾った。大阪市のヨドコウ桜スタジアムで歓喜の瞬間が訪れた。

前半34分、大会MVPに選ばれたMF今井宏亮が左足のスーパーミドルで先制点を挙げ、後半6分にも約12秒の高速カウンターから右足で追加点。この大会3試合目で、初得点を含む2発の活躍だった。

2点リードの後半10分、主将DF坂井倅大が得点機会阻止で一発退場処分になった。ほぼ自陣での守備に追われたが、同23分に途中出場の広島FW土井川遥人に許した1点にとどめ、1点差で逃げ切った。

この試合はU-17日本代表のクロアチア遠征に参加した今井健人、仲山獅恩のMF2人が不在。それでも攻守に小気味のいいサッカーで、下馬評では広島優位だった一戦を制した。このシーズンはトップチームが16年ぶりにJ1復帰を果たし、アカデミーにも相乗効果を生んだ典型的な例といえる。

敗れた広島は、G大阪に並ぶ大会最多4度目の優勝を逃し、準優勝は通算7度目となった。この大会で10ゴールを挙げ、得点王になったFW小林志紋は、26年広島のトップチーム昇格が決定した。



©J.LEAGUE

ランキング首位に並ぶ。5得点のFW石渡智也、4得点FW高木瑛人といずれも16歳で、パスを配球するMF大貫琉偉(17)との連係に磨きがかかる。

さらに特筆すべきは、試合運びのうまさ。延長PKを戦い抜いた鳥栖との準決勝は、一時逆転されるも時間の経過とともに敵陣に攻め込み、勝ち越しも目の前に迫っていた。この大会で決勝に進んだ過去3度、全て優勝という事実は偶然ではないだろう。

主将GK新垣祥大(17)が「きつい練習をしているんで絶対、相手には走り負けない。決勝では自分たちがやってきたサッカーを体現し、広島を圧倒できればいい」と決意は固い。今夏のクラブユース選手権で初優勝した勢いもある。

ともに「オリジナル10」と呼ばれ、93年当初からJリーグに参加。今季のトップチームは広島がルヴァン杯を制し、広島はJ1優勝へ首位を走る。攻撃的なプレースタイルは、アカデミーもまったく同じ。ゴールの奪い合いが予想される決勝は、Jリーグの未来を映す一戦になりそうだ。

日刊スポーツ 横田和幸記者

2016年 決勝 広島 vs FC東京

[ヤマハスタジアム]



👑 Jユース決勝過去成績 🏆

回	年	優勝	スコア	準優勝
1	94	V 川崎	1-0	横浜 M
2	94	G 大阪	3-2	V 川崎
3	95	広島	3-1	V 川崎
4	96	V 川崎	2-1	G 大阪
5	97	清水	3-0	広島
6	98	広島	3-2	市原
7	99	神戸	2-0	横浜
8	00	G 大阪	1-0	清水
9	01	京都	3-1	東京
10	02	G 大阪	5-0	広島
11	03	広島	6-4	市原
12	04	鹿島	0-0	広島
PK (3-1)				
13	05	清水	4-1	神戸
14	06	広島	2-0	東京
15	07	東京	2-1	柏
16	08	G 大阪	4-2	C 大阪
17	09	東京	2-0	広島
18	10	横浜	4-3	東京
19	11	名古屋	2-1	C 大阪
20	12	札幌	5-1	G 大阪
21	13	神戸	2-2	広島
PK (6-5)				
22	14	鹿島	1-1	G 大阪
PK (4-3)				
23	15	浦和	2-1	名古屋
24	16	東京	3-2	広島
25	17	京都	2-1	G 大阪
26	18	横浜	2-1	清水
27	19	名古屋	4-0	G 大阪
30	24	東京 V	2-1	広島



鹿島アントラーズユース

今夏の日本クラブユース選手権で初優勝。高円宮杯 U-18プレミアリーグEASTでも13勝2分3敗(10月19日時点)で2位に勝点で7点差をつけて首位を快走する。Jユース杯は優勝3度、決勝戦では無敗。トップチーム創設の1992年から活動を開始。2002日韓W杯の日本代表GK曾ヶ端準を始めとして、野沢拓也、土居聖真、垣田裕暉、鈴木優磨、船橋佑、徳田誉など輩出。

監督／中野 洋司

大会登録選手一覧

2種 (U-18)

DF	岩永 佳樹	DF	大貫 琉偉	FW	石渡 智也
DF	近藤 大祐	GK	新垣 祥大	MF	岩土 さら
GK	菊田 修斗	FW	加藤 掴夢	MF	小笠原 央
MF	中川 天蒼	FW	福田 竜正	DF	倉橋 幸暉
MF	殿岡 諒太	MF	小枝 源馬	MF	曾ヶ端 輝
DF	大川 佑悟	MF	平島 大悟	FW	高木 瑛人
DF	朝比奈 叶和	MF	三好 凌月	FW	滝澤 周生
FW	長 疾風	MF	吉田 湊海	DF	水戸 淳平
FW	高木 輝人	MF	物井 慈元	MF	熊谷 凜皇
GK	黒澤 奨永	DF	大島 琉空	DF	桑名 陽大
MF	佐藤 湧斗	DF	林 勘太	FW	寺尾 桔平
MF	上野 瑛汰	MF	福岡 勇和	GK	藤田 怜旺
MF	三浦 直人	DF	米川 彪音	GK	大下 幸誠
FW	正木 裕翔	MF	高木 春翔	MF	熊澤 結人
DF	元砂 晏翔仁	ウデンバ			

3種 (U-15)

MF	岩渕 羽流	FW	石川 薫	FW	石田 歩夢
FW	梶 孝輔	DF	大友 琉空	MF	伊藤 悠雅
FW	大川 芯和	GK	栗栖 湊士	MF	内田 陽斗
FW	草野 敏輝	MF	尾崎 史龍	DF	大曾根 虎雅
DF	栗田 遥斗	DF	柿沼 伶音	MF	大貫 蒼一郎
DF	小橋 勇斗	MF	倉持 白夜	DF	梶山 耀生
FW	佐藤 颯羅	MF	酒寄 航士朗	FW	金成 陽斗
MF	瀬尾 桔平	DF	柴崎 翔大	DF	菊池 颯
DF	高田 斗真	GK	シュルツ 建斗	GK	木田 蓮人
MF	高橋 佑次	MF	杉山 翔空	MF	佐藤 永遠
DF	竹澤 未咲	DF	杉山 慶太	MF	佐野 幹太
MF	東城 樹	FW	土井 空芽	GK	志賀 悠斗
MF	鍋田 悠真	DF	中島 翔琉	MF	鈴木 陸
DF	中根 遼太	MF	中村 圭	DF	関田 理人
DF	永山 祐海人	MF	船越 健聖	DF	飛田 留唯
MF	増渕 煌貴	DF	布袋田 結太	MF	長井 健
GK	三崎 斗馬	MF	湊 正成	FW	馬目 力樹
FW	柳澤 佑安	FW	茂呂 創	FW	三輪 瞭真
GK	山崎 駿輔	FW	麻生 蓮来	DF	村山 元紀

2025.11.07 現在

決勝までの戦績						
1st ラウンド	6月1日	●	0	VS	1	柏
	6月8日	○	7	VS	0	いわき
	7月5日	○	3	VS	1	水戸
2ndラウンド	10月18日	○	11	VS	0	秋田
	10月25日	○	10	VS	2	山形
準々決勝	11月3日	○	6	VS	3	東京V
準決勝	11月9日	☆	2	VS	2	鳥栖
(PK5-4)						